

## 無線通信方式について (6)

Bluetoothの2回目です。前回は通信方法などについてでしたが今回はその応用についての現状です。まずは携帯電話ですが、携帯電話とパソコンなどの機器の接続にBluetoothを利用します。これによってパソコンと携帯電話の有線接続が無線に置きかえることができるばかりでなく、MP3プレーヤーと接続することによって音楽配信サービスと接続したり、携帯電話用ヘッドセットとの接続も無線でできるようになります。携帯電話の周辺機器もいろいろなものが出てくるのが予想されます。自動車メーカーは車内情報LANのやり取りをBluetoothを使って行うことを考えています。また、携帯電話を外部ネットワークと自動車内をつなぐことも考え、携帯電話のハンズフリーによる通話も現在のように接続しなくても使うことができるようになります。他にも、ゲーム機と携帯電話との接続、デジカメと周辺機器との接続、腕時計を携帯情報端末として使用する場合のデータ通信への利用等いろいろなものが試作品、構想などとして各社から発表されています。また、マイクロソフトもWindows CEなどへの搭載を発表しています。

ではどこにここまで注目される場所があるかといえば、①出荷数量が見こめること、②世界中で販売できること、③低コストで製造できるの3点にあります。このうち出荷量望めるのは、携帯電話機の主要メーカーがこぞって採用を表明しているため、Bluetoothがもともと第三世代携帯電話機の無線インターフェースとして開発されたことにその理由の1つがあります。これによっていきなり数千万代の市場規模となります。

②の世界中で販売できるのは、2.4GHz帯の免許の不要なISM帯を使うことによって、ほぼ全世界で使える送受信モジュールを作ることができるため、各国毎に方式の違う携帯電話等と違って、Bluetoothの盛り上がりによって各国の無線管理局の動きを早め、世界で使用できる周波数帯が同一となるようになりました。

③の低コストについては、最大伝送距離を10mとすることでパワーアンプが不要に成ることなどによって1チップとなり、2001年で1チップで5ドルが射程に入るようになってきています。

このようにBluetoothは次の無線通信インターフェースとして注目されています。いろいろなものに組み込まれ、これまでケーブル接続する必要のあったものが簡単に接続できるようになります。まだ、映像伝送や混みいった周波数帯であるための混雑の問題、相互接続性の確保など解決しなければならない問題はいろいろあります。しかし、今以上に情報化が進むと考えられるこれらにおいて、情報家電、ホームLANなどこれまでケーブル接続が中心であったものが無線で十分となれば、より一層開発が進み、住宅への普及も進むものと考えられます。気づかないうちにいろいろなものが接続され、連携して動くこととなるのかもしれませんが。(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 3月13日号

特集 Crusoeの船出

→CPUはその動作周波数が1GHzを超え高性能化の一途であったが、実際500MHzもあればほとんどのアプリケーションには十分な性能で、それ以上のものへの必要性が無くなってきている。その中で出てきたのがある程度の性能を持ち低電力型のCPUで、その筆頭がCrusoeであり、携帯用ノートパソコンのCPUを目指す。

○日経パソコン 3月6日号

特集 オンラインソフト実践マニュアル

→インターネットで入手できるオンラインソフト。簡単なユーティリティから業務アプリケーションまでであるが、その探し方や代金の支払方法などの最新情報。

特集 Windows 2000導入ガイド

→Windows 2000のインストールに関する実践ガイド。インストール前のチェックから全体の流れQ&Aまで。

○日経オープンシステム 3月号

特集 クライアントのトラブル回避

→クライアントの選択肢にブラウザが加わりシステムの範囲が広がった。クライアントの管理を容易にするためにはクライアントにアプリケーションをインストールしないブラウザ環境が有利だが、パフォーマンスが出ないなどの問題がある。また、開発ソフトのバージョン間での互換性がないなどの問題もある。

注目 生まれ変わったJavaは企業システムに使えるか

→開発環境の標準仕様としてのJ2EEが登場、業務アプリケーションを開発する環境が整備されつつある。これまでの問題点が解決され、製品整備も進んでいる。

注目 セキュリティ監視ツール

→インターネットへのセキュリティの大切さが改めて重要視されるなかで、セキュリティホールを検出、セキュリティの嚴重さの監視、不正アクセスの監視などのツールが注目されている。

○日経ネットビジネス 4月号

特集 儲かる「究極」の電子商店

→注文服から中古車、一戸建て住宅までといろいろなものがネット上で買える。渋谷のビットバレー企業だけが目立つが実際はいろいろな電子商店が実績を上げている。事例を通して実態を探る。

特集 安くて早い定額ネット

→インターネットを取り巻く環境が変わり、常時接続環境がいろいろ出てきている。家庭から使える常時接続環境によって提供する情報も変わり、一種の地域LANとして地元向けの情報提供が可能になる。

○PCWORLDは3月号でオンライン化のために休刊です。

○DOS/V magazine 4月1日号

特集 Athlon攻略!自作PC超バイブル

→インテルのPentiumⅢの対抗であるAthlon、メモリの問題で多少もたついているPⅢに対して順調となっているはずだがその安定度は、各種ハードウェアとの相性はどうか。

特集 クラッカー撃退マニュアル

→いろいろなホームページが進入され話題になっている現在、一般ユーザーとしての対処はどうすれば良いか。その手口の解説から現状の企業アタックの実態について。

特集 システム復旧を究める

→何かあったときにどう対処するか。データやアプリケーションのバックアップからOSや環境のバックアップにはバックアップ用リカバリCDを使うことが基本からリカバリーCDの作り方まで。

